

汎用的教育コンテンツ利用実績紹介フォーム

1.利用情報

教育機関名	流通経済大学	
学部・学科名	経済学部経営学科	
コース名・講座名等	崔1年ゼミ	
対象学年・受講者数	1 年次 18 名 (講座等の履修登録者数を記載してください)	
講座実施期間	2014 年 10 月 ~ 2014 年 11 月	
利用コンテンツ名 (該当□をプルダウンで■にしてください)	<input type="checkbox"/> プロジェクト型システム開発チーム演習教育コンテンツ	
	<input checked="" type="checkbox"/> パーソナルスキル(ロジカルシンキング)養成教育コンテンツ	
	<input type="checkbox"/> ソフトウェア開発技法実践的演習教育コンテンツ	
	<input type="checkbox"/> 情報セキュリティ実践的教育コンテンツ	
	<input type="checkbox"/> 「要求工学を活用した問題発見と情報システムによる解決」実践的教育コンテンツ	
コンテンツの利用形態 (該当□をプルダウンで■にし、必要事項をご記入ください)	1.利用したコンテンツ	
	<input checked="" type="checkbox"/> ①シラバス	<input checked="" type="checkbox"/> ⑥テスト問題と解答例
	<input checked="" type="checkbox"/> ②講義スライド	<input type="checkbox"/> ⑦ティーチングガイド
	<input checked="" type="checkbox"/> ③講義ノート	<input type="checkbox"/> ⑧受講レポート
	<input type="checkbox"/> ④演習課題	<input type="checkbox"/> ⑨ソースコード
	<input type="checkbox"/> ⑤各種設計書	
	2.コンテンツの利用方法について	
	<input type="checkbox"/> 1.教育コンテンツ全てをそのまま利用	
	<input checked="" type="checkbox"/> 2.教育コンテンツの一部をそのまま利用	
	(利用範囲)	学科全体でやることになっているゼミの内容が既に決まっていたので、一部の時間だけにロジカルシンキングの基本について取り上げた。
<input type="checkbox"/> 3.教育コンテンツを改変して利用		
(改変範囲)		

講座の全体構成(シラバス) ※単元ごとの学習項目、講義形態、コンテンツ利用の有無を記す			
	単元と時間配分(1コマ= 90 分で実施)	プルダウンで該当項目を選択してください	
	*短期集中講座の場合は、日単位で結構です	講義形態 (座学、個人演習、チーム演習)	単元でのコンテンツ利用の有無
1	夏休み課題提出・確認、秋学期のガイダンス	個人演習	無
2	プレゼン大会予選会	チーム演習	無
3	プレゼン大会予選会	チーム演習	無
4	プレゼン大会予選会	チーム演習	無
5	プレゼン大会予選会、代表選考	チーム演習	無
6	プレゼン大会(マザーズ投資ゲーム成果発表会)	チーム演習	無
7	ロジカルシンキング第1回	チーム演習	有
8	ロジカルシンキング第2回(基本となる思考)	チーム演習	有
9	ロジカルシンキング第3回(Whatツリー)	チーム演習	有
10	ロジカルシンキング第4回(whyツリー)	チーム演習	有
11	ロジカルシンキング第6回(ピラミッドストラクチャー)	チーム演習	有
12	ロジカルシンキング第7回(マトリックス)	チーム演習	有
13	ロジカルシンキング第8回(プロセス)	チーム演習	有
14	ロジカルシンキング第9回(問題発見)	チーム演習	有
15	まとめ、2年次の履修登録について、振り返り	個人演習	無
特記事項			

コンテンツ利用の狙い・目的	・論理的思考方法に関する基本ツールを使ってみることや、チームでの人間関係形成によりゼミの活性化を図る
講座の位置づけ 学生の履修前提条件	1年ゼミなので、特に履修の前提となる条件は無し
授業の進め方	特に、ICTの活用はせず、議論の内容をまとめて報告できるよう、「グループディスカッション報告書」を作成し、生徒に配布した。生徒は、その報告書の項目にそって、議論の内容をまとめて提出することになっている。報告する項目として、1. テーマ、2. 自分の意見、3. チームメンバーの意見、4. 他のチームの意見、5. 他のメンバーに対する評価などが含まれている。

2. 講座実施後の情報

受講者の感想 (本講座で得られたもの)	テキストの前半は、ある意味平凡な内容だったので手応えのある反応は無かったが、後半(特に、マトリックス)に入ると徐々に興味を示す生徒が増えてきた。身近な問題に対して論理的にアプローチしてみることの重要性に気づく生徒が増えてきた。
教員の評価	・誰でも手軽に授業で使えるように丁寧かつ詳細にテキストや講義ノートまで作成してもらえたのが良かった。・課題のレベルが易しすぎる。もう少し、具体的データや数字を示して、頭を使って分析していくことで達成感が得られるようにして頂きたい。
今後の展望 (継続に向けた課題)	専門ゼミのレベルで活用していくには、本コンテンツをさらに専門分野に合わせるための作業を教員側が行う必要があると感じた。